



2026年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社プロディライト
代表者名 代表取締役社長 小南 秀光
(コード番号：5580 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 吉田 圭子
(TEL. 06-6233-4555)

2026年8月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との 差異に関するお知らせ

2025年10月15日に公表いたしました2026年8月期第2四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期第2四半期連結業績（中間期）予想と実績値との差異 （2025年9月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,628	百万円 100	百万円 98	百万円 58	円 銭 35.10
実績値（B）	1,524	21	19	△18	△10.88
増減額（B-A）	△104	△78	△78	△76	
増減率（%）	△6.4	△78.4	△80.0	—	
（参考）前中間期実績 （2025年8月期第2四半期）	1,320	59	57	31	18.98

2. 差異の理由

売上高につきましては、主力事業である音声ソリューション事業は第2四半期において前年同期比15.8%増と順調に推移したものの、子会社である株式会社NNコミュニケーションズにおいて、光回線取次事業の売上が計画を下回ったこと、小規模企業向けクラウドPBXサービス関連において想定していた受注の進捗が一部未達となったことが影響し、これらの結果、売上高は前回公表した業績予想を下回る結果となりました。

利益面では、上述の売上計画の未達に加え、子会社が展開する事業に関連する業務委託費用が当初の想定を上回って発生したことにより、費用負担が増加し、利益を押し下げる要因となり、前回公表した業績予想を下回る結果となりました。

今後につきましては、子会社事業の収益性および運営効率の改善を重要な経営課題と位置付け、事業構造の見直しや組織再編を含めた対応を着実に進めることで、グループ全体としての収益力向上を図ってまいります。

なお、2026年8月期の通期の連結業績予想につきましては、主力事業である音声ソリューション事業の中核サービスであるクラウドPBX「INNOVERA」が、低い解約率を維持するとともに、リカ



ーリング率も約8割と高水準で推移しており、安定した事業基盤を引き続き確保していることから、2025年10月15日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

以上